

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 6月 8日

【評価実施概要】

事業所番号	0172000705		
法人名	有限会社 グループホーム 花		
事業所名	グループホーム 花		
所在地	小樽市最上1丁目25番4号 (電話) 0134-27-2104		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年5月30日	評価確定日	平成20年7月2日

【情報提供票より】 (平成20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年10月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤7人, 非常勤1人, 常勤換算6.73人	

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ 造り
	2階建て 1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	光熱水費25,000円
			暖房費 7,000円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (5月 30日現在)

利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	5名	要介護2	2名
要介護3	1名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 82歳	最低 76歳	最高 90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小樽病院・朝里病院・三ツ山病院・マサキ歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開放的な居間を中心に、利用者と職員の笑顔がいっぱいの、明るいグループホームである。室内の飾り付けやレイアウトなど、利用者の手作り品が、至る所に見られ、センス良く配置され、暖かい雰囲気作りがなされている。利用者の自立度が良好で、階段の昇降や家事への参加、協力など様々な取り組みが意欲的になされている。利用者同士の関係は良好で、職員との共同生活は満足度が高く、居心地の良い安心の住まいとなっている。記録の管理はパソコンを機能的に使用し、プライバシーに配慮があり、安全に保管されている。職員は、パソコンを操作して効率的に事務をこなし、利用者との係わりを重視している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4) 理念の中に、地域密着型サービスとしての言葉は挿入されていない。外部評価に対する取り組みは改善されている。また、食事の献立は、栄養面や水分把握など、専門家の点検が見られ、改善に向けた取り組みは、実施されている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は、会議で話し合いを重ね、記載内容を手分けして取り組み、課題の共有に努力が見られる。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>およそ2ヵ月おきに、運営推進会議を開催し、参加者は、ホームの取り組みや、概要の把握が容易になった。意見や感想など、話し合いが活発になってきた。今後、介護教室の開催などが予定されている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の意見や苦情は、ほとんど見られない。面会時の話の中で、細かいことでも内容を汲み取り、より良い方向に前進するように努力している。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の中で、バス通りに面してわかりやすい位置にある。町内会に加入し、さらに、利用者の中には老人会に個別に加入し、例会の参加など馴染みの関係が出来つつある。隣近所と日常的に交流がある。</p>
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	[いつも同じ顔ぶれで自分らしい生活を送れるように支援する]という理念を掲げているが、地域でという言葉は見当たらない。	○	地域の中で、すでに実践されているので、理念の中に含まれることが望ましい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の全体会議で繰り返し確認し、職員は、日々実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	バス通りに面した位置にあり、地域の人々に知られ、近隣の方々と日常的に親しい付き合いがある。利用者の中には、地域の老人会に個別に加入し、毎月の例会に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は、会議を開催し、話し合いを積み重ね、手分けして自己評価の記載に取り組み、課題を共有している。前回の評価以降、取り組みに前進が見られる。		

小樽市 グループホーム 花

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの様子を詳細に報告し、意見や協力をいただき、日常の業務に活かしている。記録も整理され、わかりやすくなっている。今後介護者教室の開催を予定している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームでは、行政と連携する機会をつくり、指導をいただきながらサービスの向上を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームでは、家族の方々に《お便り》を毎月発行し、日常生活の様子やホームからのお知らせ、さらに健康面の情報など細かく知らせている。金銭の明細も同封し、お送りしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議において、面会時の意見や感想など、家族の方々と職員の会話の中で、語られた内容を汲み取り、ホームの運営に活かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はできるだけ少なくし、馴染みの関係が切れないように配慮している。新しい職員と利用者は、ともに寄り添い行動することで、良好な関係作りがされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回は、内部で課題を見つけ、職員が話題提供をし、学びを継続している。また、外部の研修に、出来る限り参加するように努力し、研修の記録も整備されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のほかの業者と交流し、情報の交換などのため、相互に訪問もしている。サービスの質の向上を目指している。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用を開始する前に充分話し合いを重ね、数回の体験など、馴染みの関係が速やかにとれるように家族の方々と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、介護する側に固定せず、ともに過ごす仲間として、喜怒哀楽を体験しつつ、利用者と協働生活を心掛けている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自立度の高い利用者の思いや、希望などに耳を傾け、利用者本位に支援している。また、困難な場合は、家族の方々の意見を聞いている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画のみならず記録はパソコン入力で、職員は、点検、記載、確認など機能的に把握できる仕組みになっている。職員間で共有し、申し送りですさらに充実するように努力している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、3ヵ月、または6ヵ月で見直しをしている。状態の変化にはすぐに対応し、現状にマッチした介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個人的な外出支援は、職員の都合がつく限り、すぐに実施している。出来る限り、要望に応じて柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院と連携を密にし、利用者一人ひとりが、かかりつけ医師を確保して、適切な医療が受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針は、利用者の方に該当者がいないので、まだ決めていない。	○	該当者がいなくても、ホームとしての方針について、職員間の共通理解がほしい。また、利用者や家族と確認をすることが求められる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関する記録類は、パソコンで管理され、プライバシーに配慮した取り扱いがされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎月の行事のほか、散歩・買物・プールなど身体状況に配慮しながら、できるだけ利用者一人ひとりの意に添う個別性ある支援に努めている。		

小樽市 グループホーム 花

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事時は、職員全員が一緒のテーブルにつき、同じ食事を取り、会話を楽しみながら、さりげなくサポートしている。食事準備、後片付けは、利用者が中心になるなど、個別の能力を活かした支援がなされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴日が設定されているが、利用者の状況、希望により、柔軟に対応している。また温泉付きのプールに定期的に行き、温泉入浴を楽しんでいる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常の家事作業、趣味の作業を行ない、日々の暮らしに張り合いが出るように努めている。利用者の作品を居間やホールに飾るなど、趣味をより楽しめるよう支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お花見や外食会、遠足などの毎月行事のほか、ドライブをしたいなど、その日の状況、希望に添って対応している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関は鍵をかけず開放している。居間のすぐ横に玄関が隣接し、ガラス張りで見通しが良い。		

小樽市 グループホーム 花

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回消防署の協力を得て、消火訓練を実施している。今後は、年2回行なうよう計画中であり、地域の協力体制も確立されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の希望を聞き、職員が作成した献立は、栄養士のチェックを得る機会を設け、栄養、カロリーバランスに配慮した食事の提供を行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な印象の居間には、食卓やソファが配置されており、日当たりも良い。手作りの飾りや利用者の書いた書・写真の掲示も多くあり、女性らしく、居心地良い温かみある共用空間の工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には大切にしている物、馴染みの物品（思い出の写真や仏壇など）が持ち込まれ、利用者一人ひとりにとっての安心の場として、配慮されている。ベッドやふとん、いすや座布団など、一人ひとりの希望にあわせた居心地の良い住まいとなっている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。